



### <来週の資金需給予想とイベント予定>

(単位: 億円)

日付	資金需給予想			主な要因	オペ期日	オペスタート	イベント
	銀行券要因	財政等要因	資金過不足				
9/13 (月)	+ 400	+ 6,400	+ 6,800	国庫短期証券 発行・償還 (3M)	国債補完供給 + 200 CP等買入 ▲ 200		米:財政収支 (8月)
9/14 (火)	トシ	+ 3,000	+ 3,000				日:鉱工業生産 (7月) 米:CPI (8月)
9/15 (水)	トシ	▲ 7,000	▲ 7,000		共通担保 (全) ▲ 2,500 貸出増加支援オペ ▲ 34,000	CP等買入 + 5,000	米:鉱工業生産 (8月)
9/16 (木)	▲ 2,000	▲ 2,000	▲ 4,000				日:貿易収支 (8月) 米:新規失業保険申請件数(11日終了週)
9/17 (金)	▲ 2,000	▲ 7,000	▲ 9,000	国債発行 (20Y)			欧:ユーロ圏CPI (8月)

### <インターバンク>

日銀当座預金残高は週初531兆9,800億円から始まった。8日の30年利付国債の発行により、530兆9,100億円まで減少したが、翌日の国債買入オペにより531兆9,700億円まで増加した。週末の10日には5年利付国債の発行もあり、528兆500億円まで減少し、越週した。

無担保コールON物加重平均金利は、週初、前営業日比+0.002%の△0.018%から始まった。一部オファーサイドが運用を控えるようになったこともあり、同金利は7日に△0.014%、8日には△0.009%まで上昇した。9日には2016年4月以来の高水準である△0.006%まで上昇した。週末3日積みみの10日は一部調達ニーズが減退する先が見られ、△0.010%に低下し、越週した。

ターム物は、ON物の上昇の影響をうけ、1W~2W物を中心に、主に△0.015%~△0.003%の水準で出合いが見られた。

また、日本銀行は9日に9月積み期におけるマクロ加算残高の算出に用いる基準比率を15.0%に定めることとした。

来週の主な予定は、国内で14日に鉱工業生産 (7月) の公表、16日に貿易収支 (8月) の公表などがあり、海外では14日に米CPI (8月) の公表や、17日にユーロ圏CPI (8月) の公表などが予定されている。

### [無担保コールレート]

	予想レンジ (%)
O/N	△0.050 ~ 0.001
1M	△0.050 ~ 0.020
2M	△0.010 ~ 0.050
3M	0.000 ~ 0.100
6M	0.000 ~ 0.130

### [オープン市場]

	予想レンジ (%)
現先 (on/1w)	△0.050 ~ 0.000
CP 3M	△0.080 ~ 0.000

### <レポ>

足許GC取引は週初△0.075%近辺の出合いから始まり、短国買入オペがオファーされた翌7日の取引以降も△0.080%~△0.075%の狭いレンジ内で推移した。短国3Mの入札日となった週末の取引では、△0.06%台まで上昇して越週した。SC取引は2年409~428回債、5年137~148回債、10年333~363回債、20年163~177回債、30年69~71回債、40年9~14回債などに引合いが多く見られた。

### <CP>

今週の入札発行総額は約2,500億円で、週間償還額 (約2,600億円) を若干下回った。石油製品業や小売業等の大型案件が実施されたものの、週を通じて案件が少なく、落ち着いたマーケットとなった。発行残高は先週末の25兆1,253億円から、9日時点で24兆9,874億円に減少した。発行レートは、大型発行案件や期内物については浅いマイナスレートでの出合いとなった。10日にCP等買入オペが予定通り5,000億円でオファーされた。結果は、按分レート△0.016%・平均落札レート△0.013%と前回 (按分レート△0.015%・平均落札レート△0.01%) 比で低下した。

来週の週間償還額は、約1兆円程度となっている。発行市場は、5・10日発行も予定されるが、引き続き、中間期末を睨んで期日償還が多くなり、今週同様落ち着いたマーケットが予想される。発行レートは、期内物については、浅いマイナスから0%近辺の出合いが中心と思われるが、日銀オペ等の対象銘柄や期越物等では、強いマイナスレートでの出合いを予想する。

### <TDB>

9月9日の6M1021回債(2022年3月10日償還)の入札は、最高落札利回り△0.1168% (前回債△0.1248%)、平均落札利回り△0.1189% (前回債△0.1308%) となった。9月10日の3M1022回債(2021年12月13日償還)の入札は、最高落札利回り△0.1122% (前回債△0.1142%)、平均落札利回り△0.1174% (前回債△0.1194%) となった。来週は16日に1Y、17日に3Mの入札がある。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。